

## 故郷に似た雰囲気好評 エストニア夏至祭を開催

6月24日(土)、町内の宿泊施設「ときたまひみつきちCOMORIVER」(本郷地内)に駐日エストニア共和国大使館のヴァイノ・レイナルト大使ほか、日本国内で暮らすエストニアの方々30名ほどが訪れ、同国の代表的な年中行事「夏至祭」を楽しみました。3年前から同施設で行われているこの催しは、母国とよく似た川や森、山など自然豊かなときがわ町の雰囲気や、この日のために準備された巨大焚き火が好評。今後、文化交流や相互理解の促進が期待されます。



エストニアの皆さまと、施設を運営している(株)温泉道場の山崎代表取締役(写真右端)と、渡邊町長(同中央)。

写真説明

## 『広報ときがわ』が2年連続 全国広報コンクール入選!

おかげさまで、『広報ときがわ令和4年12月号』が、「令和5年全国広報コンクール 広報紙町村部」において入選を果たし、6月23日(金)に栃木県栃木市で行われた第60回全国広報広聴研究大会において表彰されました。広報ときがわは、これまでも全国の場合で何度も表彰されている、実績のある広報紙です。それを担当する重圧と、毎月の締切の圧力に耐えながら、編集し発行を続けてまいりました。今回の結果も、取材などにご協力いただいている皆さま、理解のある職場の皆さま、いつも各家庭などで受け取っていただいている町民の皆さま、全ての皆さまのおかげです。この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございます。



会場で賞状を掲げる私、担当の保坂です。写真は、当日に隣に座られた山形県朝日町の広報担当の方に撮影していただきました。ありがとうございました。

写真説明

## 渡辺凌玖さん作の木工作品 林野庁長官賞を受賞!

この度、明覚小学校4年生(出品時3年生)の渡辺凌玖さんの作品『森の楽園』が、林野庁長官賞を受賞し、高知県で行われた第47回全国児童・生徒木工工作コンクールにおいて表彰されました。この作品は、埼玉県児童・生徒木工工作コンクールにおいて知事賞を受賞し、全国へ出品されたものです。

「森の楽園に来て、遊んでね」という思いで作った、多種の植物の材料からできた大作。この秘密基地で、どんぐりたちが、竹の滑り台や蓮の温泉で、楽しそうに遊んでいる様子が見えます。

全国での表彰、おめでとうございます。



受賞した作品『森の楽園』の後ろに立つ、賞状を持った渡辺さん(写真左)と渡邊町長(同右)。

写真説明

## 園児が収穫体験 遊休農地でジャガイモ掘り

町農業委員会では、遊休農地を解消する取り組みの一環として、玉川地内の農地約500㎡にジャガイモを植え付け、6月16日(金)には、はなぞの保育園の園児41名と一緒に収穫体験を行いました。園児たちは、夢中になってジャガイモを掘り起こし、園に持ち帰りました。また、収穫したジャガイモは、町内の保育園に配布し、給食に利用しました。



にぎやかな雰囲気の中ジャガイモ掘りを行う、はなぞの保育園の園児たち。

写真説明